

## 第7回 教員研修リレー講座報告 2021.11.6(土)

第7回 教員研修リレー講座を以下の通り、実施しました。ご多忙のところ、ご参加くださいました皆さん、ありがとうございました。

**担当者** 群馬大学共同教育学部附属教育実践センター  
教授 安藤哲也

**日時** 11月6日(土) 13:30~15:00

**場所** 共同教育学部6号館 C105 教室

**講義内容** 「幼児期の教育との接続 ～スタートカリキュラムの、その先へ～」

- ・ 幼小接続の現状
- ・ スタートカリキュラムが支える子どもの育ちとは
- ・ 連続させるべき「学び」とは
- ・ 授業で発揮する「経験知」の具体例 など

### 参観者の声より（一部抜粋）

- ・ 自身の校種とは離れていても、興味深く聞くことができました。高校の教育においても、生徒たちがこれまで（中学校まで）に、どのように学び、どんな経験をしてきているのかを考えてアプローチするのとしらないのでは、異なると思います。その点で、共通していると思いながらお話を聞くことができました。
- ・ 普段はなかなか自分では考えないような内容だったので、興味深く拝聴しました。今日の講義内容を抽象化・一般化し、自分の目の前の現状に活かしていきたいと思います。
- ・ 小学校1年生の最初の授業がどのような理屈で行われているのか、学ぶことができました。下りたくない段差があることや領域について知ることができたのが、特に貴重な学びになったと思いました。
- ・ 保育や幼児教育について大学で学んできて、結局、知識として教えてもらったことや、実習先で学んだ子どもの姿をどのように活かすのかを、理解しなくてはいけないと思いました。特に、「下りたくない段差」という考えは、はじめて知りました。「上れない段差」だけだと思っていたので、小1の子たちとの関わりを、これから理解して、接していきたいと思いました。

